

今週（2月10日から2月14日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、先週からの流れを引き継ぎ、調達ニーズが非常に強い状態が継続した。日銀当座預金残高は、13日までは大きな資金需給要因は無く391兆円前後で推移し、14日には年金定時払いにより400兆円弱まで増加した。積み期間終盤ということもあって、無担保コールO/Nは、ビッドが概ね▲0.015～▲0.005%と非常に強く、無担保コールO/N加重平均レートは、週を通して▲0.01%前後と、調達ニーズの強さが反映された。ターム物は、オファーが少なく目立った出合いは見られなかった。

●レボ市場

今週のGC T/Nは、積み期間終盤となったことで、週後半にかけて徐々にレートが低下していく展開となった。14日のT/N（16-17日）は新しい積み期間となったことで、若干上昇した。週全体では、▲0.115～▲0.05%程度のレンジで推移した。

SC個別銘柄では、5年133～142、10年336～357、20年162～171、30年59～65、40年9～12などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、在庫がやや多いものの、足元ファンディングレートの低下などを受けてか、横ばい圏での推移となった。3M物では、▲0.146～▲0.140%、6M物では、▲0.160%近辺でまとまった出合いが見られた。一方で、1Y物は動意なく閑散なマーケットとなった。

12日に実施された短国買入オペは、前回と同額の7,500億円でオファーされた。平均落札利回較差+0.007%、按分落札利回較差+0.005%と、小甘い結果となった。

14日に実施された3M物の入札はWI取引において▲0.133～▲0.130%で出合当中、平均落札利回▲0.1283%、按分落札利回▲0.1222%と、軟調な結果となった。

●CP市場

今週は、電気機器、小売、建設、ゴム、医薬品等の幅広い業態の大型発行があり、堅調なマーケットとなった。週間の金額ベースで見ると、5,600億円程度の償還に対して、7,000億円程度の発行と、発行超の市場となった。ノンバンク等の償還もあり、市場残高はやや減少傾向ながらも22兆円台を維持している。発行レートについては、高水準な市場残高を反映して、引き続き0%付近の出合いが中心ながらも、マイナス発行は減少しており、期内物や発行量の多い銘柄を中心に僅かにプラス圏に振れている。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
2/10（月）	23,685.98	△ 0.060	109.64	△ 0.010	△ 0.052	3,908,000
2/11（火）						
2/12（水）	23,861.21	△ 0.045	109.85	△ 0.008	△ 0.086	3,911,000
2/13（木）	23,827.73	△ 0.035	109.88	△ 0.008	△ 0.108	3,912,100
2/14（金）	23,687.59	△ 0.035	109.85	△ 0.011	△ 0.075	3,998,800

## 来週（2月17日から2月21日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
2/17 (月)	10-12月期のGDP 1次速報(内閣府 8:50) 12月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)				
2/18 (火)		5Y 19,000億円 2/19発行			New York祝日 (Presidents' Day)
2/19 (水)	12月の機械受注統計(内閣府 8:50) 1月の貿易統計(財務省 8:50)	TB1Y 19,000億円 2/20発行	交付税借入 10,500億円 2/28借入		1月の米生産者物価指数 1月の米住宅着工件数 1月の英消費者物価指数
2/20 (木)		20Y 9,000億円 2/21発行			
2/21 (金)	1月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 44,400億円 2/25発行	交付税借入 10,500億円 3/4借入		1月のユーロ圏消費者物価指数改定値 1月の米中古住宅販売

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/17 (月)	500	300	800	CP買入 ETF買入 国債補完	▲ 200  100	700	600	1,400	TB3M発行▲44400償還40700 2Y償還7700 流動性供給▲6000 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲4300 個人向け3Y・5Y償還500
2/18 (火)	0	▲ 1,000	▲ 1,000				0	▲ 1,000	労働保険料揚げ
2/19 (水)	0	▲ 23,000	▲ 23,000				0	▲ 23,000	5Y発行▲19000 交付税借入▲10500期日10500
2/20 (木)	▲ 2,000	▲ 4,000	▲ 6,000				0	▲ 6,000	TB1Y発行▲19000償還14300 エネルギー対策借入▲5000期日5000
2/21 (金)	▲ 2,000	3,000	1,000	CP買入		3,500	3,500	4,500	20Y発行▲10000
週間合計	▲ 3,500	▲ 24,700	▲ 28,200	—	▲ 100	4,200	4,100	▲ 24,100	

2/17は日銀予想、2/18以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、新積み期間に入り、出合いレートは一旦低下して始まると思われるが、地銀業態を中心に一定の調達ニーズが見込まれる事から、底堅い展開が見込まれる。レボ市場は、GC T/Nは▲0.10～▲0.06%と、新しい積み期序盤のため落ち着いたレート水準での取引が予想される。短国市場は、19日に1Y物、21日に3M物の入札が実施予定となっている。短国が増発傾向にある中、市場動向が注目される。オペのオファー額は、5,000～7,500億円程度が予想される。CP市場は、18日にCP等買入オペが3,500億円で予定されている。2月は1回しかオペがないことや、業者の在庫も積み上がっていることから、引き続き浅いマイナスで決着すると見込まれる。

主要なイベントとしては、国内では17日に10～12月のGDP1次速報、21日に1月の全国CPI、海外では19日に1月の英CPIなどが予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入